

# 社会科学習指導案

〇〇小学校  
指導者 〇〇〇〇

1 日 時 令和 年 月 日 ( ) 校時  
2 場 所 第4学年〇組教室  
3 学年・学級 第4学年〇組 〇名 (男子〇名・女子〇名)  
4 単元・題材名 「ごみはどこへ」  
5 単元・題材の目標

- ・ごみを処理する仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身につけるようにする。
- ・ごみを処理する仕組みは処理に協力する人々の取り組みについて、それらが果たす役割を考え、ごみ処理に見られる課題を把握して、その課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- ・ごみの処理について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に活かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

## 6 単元・題材について

### (1) 児童観

- ・これまでの社会の学習で、「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」を意識した学習スタイルを身につけてきた。教科書をもとにして資料を見つけ、市や県の取り組みを理解し、地図や年表などの資料で調べまとめることができる。
- ・資料や映像を見て、既習事項をふり返りながら市や県の様子、そこで働く人たちの気持ちなどに着目して、市や県が私たちとどのように関わっているかをとらえ、問題点を見つけたり話し合ったりすることができる。
- ・授業の初めに提示する「本時のねらい」を視野に入れながら学習し、授業の終わりに「本時のふり返り」を書くことで市や県のはたらきを学ぶ意味を考え、表現することができる。

### (2) 教材観

- ・自分たちの暮らしを振り返り、家庭から出るごみの量を調べる活動を通して、暮らしのあり方を見直し、学習の契機とすることができるようにする。
- ・子供の主体的な活動から、ごみに対する自分自身の関わり方について見直すことを学習の導入とし、子どもたちの気づきや問いを生み出す現実と出会わせることで、ごみの処理が計画的、協力的に行われてきていることを理解できるようにする。

### (3) 指導観

- ・ごみ処理をめぐる問題が、環境や資源をめぐる問題であることを認識できるようにするとともに、ごみの減量化やリサイクルに自分たちも協力していこうという実践的態度にはたらきかけていく。

## 7 単元・題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①ごみを処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう勧められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p> <p>②ごみを処理する仕組みやその再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。</p>	<p>③ごみを処理するための地形の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現している。</p>	<p>④学習したことをもとに、ごみを減らすために自分達が協力できることを考えたり選択・判断したりして、自らもごみの適切な処理や再利用に協力しようとしている。</p> <p>⑤ごみの処理について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

## 8 単元の指導計画・評価計画（15時間扱い、本時は14/15）

時	○目標	・学習活動	評価の観点			
			知	思	態	
1	身の回りのごみに着目して、自分達の生活では様々な場所で多くの種類のごみが出ていることを捉える。	学校生活では、どこでどのような種類のごみが、どれくらいの量出ることについて調べ、身の回りで出るごみに着目する。	学校生活をはじめ、日常生活の様々な場面でごみが出ていること。	①		
2	家から出るごみに着目して、家からは様々なごみが出ていること、ごみの収集にはきまりがあることを捉える。	家から出るごみの種類や量と、ごみを収集する時の決まりを調べ、気になったことや疑問に思った事を話し合う。	家からは様々な種類のごみが出ていること。ごみは種類ごとに分別して収集に出されていること。	①		
3	身の回りで出される様々な種類のごみが、どこでどのように処理されるのかについて調べるための学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。	身の回りから出たごみについて調べて疑問に感じたことや知りたいと思ったことを話し合い、学習問題をつくり、学習計画を立てる。	ごみの処理に関する問いを整理して一文にまとめ、学習問題として表し、学習計画を立てること。	③	④	
4	ごみの収集の様子に着目して、ごみを収集する際の工夫や収集に出す際のきまりを捉える。	ごみの出し方、収集の仕方や工夫を調べる。	大量のごみを早く集中するための工夫があることや、ごみの種類によって処理方法が違うため、分別して収集を行っていること。	①		
5	清掃工場で見学し、燃やすごみの処理のしかたに着目し、処理の工夫について捉える。	清掃工場を見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。	清掃工場では、燃やすごみを工夫して処理していること。	①		

6	清掃工場で燃やすごみの処理のしかたに着目し、処理の工夫について捉える。	清掃工場を見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。	清掃工場では、燃やすごみを工夫して処理していること。	①	
7	清掃工場で燃やすごみの処理のしかたに着目し、処理の工夫について捉える。	清掃工場を見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。	清掃工場では、燃やすごみを工夫して処理していること。	①	
8	清掃工場で燃やすごみの処理のしかたに着目し、処理の工夫について捉える。	清掃工場を見学し、燃やすごみの処理の仕方と、処理する際の工夫について調べる。	清掃工場では、燃やすごみを工夫して処理していること。	①	
9	最終処分場での処理のしかたに着目し、処理の工夫について調べ、最終処分場での処理の工夫や抱える問題について捉える。	最終処分場での処理の仕方や処理の工夫について調べ、処分場が抱える課題について話し合う。	最終処分場を継続使用できるように、処理方法や周囲の環境に配慮した取り組みをしていること。	②	
10	資源ごみの処理のしかたに着目し、リサイクルとそれを進める上で大切な人々の取り組みについて捉える。	資源ごみの処理の仕方と、分別された資源ごみのゆくえを調べる。	資源ごみをリサイクルしやすくするために、自分達も分別に取り組むなどの協力が必要であること。	②	
11	学習問題を確かめ、ごみの処理についてわかったことや自分の考えをまとめる。また、さらに分からないことを新たな学習問題として表し、学習の見通しをもつ。	ごみを処理する仕組みについて調べたことをふり返り、わかったことと新たに生じた問いについて話し合う。	ごみの処理をめぐって、処理費用や処理する場所の確保などの問題があること。	③	⑤
12	市のごみの量の変化と処理にかかる費用の変化に着目し、処理のしかたや人々の生活様式の変化について捉える。	市のごみの量の変化やごみの処理にかかる費用の変化について調べ、変化の理由を考える。	市のごみの量や処理にかかる費用、処理の方法は人々の生活様式に合わせて変化してきたこと。	②	
13	地域で働く人々のごみを減量するための取り組みに着目し、取り組みの工夫や効果を捉える。	地域で働く人々のごみ減量の取り組みとその工夫について調べる。	地域で働いている人々は、仕事を通して、ごみの減量や再生医療の取り組みを進めていること。	②	
14 本時	ごみをさらに減量するための取り組みを調べ、取り組み人々の思いに着目し、活動を続ける上で大切なことを捉える。	地域の人々が行うごみ減量の活動さらに調べ、人々が活動する上で大切にしていることを考える。	地域の人々は、ごみを減量するために様々な取り組みを進めていること。3Rという考え方があり、様々な場面で実践されていること。	②	
15	学習問題をふり返り、ごみを減量するために自分たちにできることを地域の人々と一緒に話し合い、学習問題について自分の考えを表現する。	ごみに関わる問題やごみを減量するための地域の人々の活動をふり返り、ごみの減量のために自分たちにできることを考え、表現する。	自分も地域社会の一員として、ごみ減量のためにできる取り組みがあること。	③	⑤

## 9 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

ごみをさらに減量するための取り組みを調べ、取り組み人々の思いに着目し、活動を続ける上で大切なことを捉える。

### (2) 本時の流れ (14/15時)

	学習活動と内容	指導上の留意点	【評価の観点】 〈評価方法〉
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの学習を振り返ろう。</li> <li>○これでゴミの問題は完全に解決したのかな。</li> <li>○解決したことと解決していないことに分けて整理しよう。</li> </ul>	<p>解決したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミを分別し、焼却できるものは焼却して減量している。</li> <li>・焼却できないものは埋め立てている</li> </ul> <p>解決しないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・埋立地はどんどん狭くなっている。</li> <li>・これ以上埋立地を増やすことはできない。</li> </ul>	
展開 25分	<p>本当に〇〇市はゴミ問題を解決したといえるのだろうか。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで話し合おう。</li> <li>○個人の意見を出し合おう。</li> <li>①解決した               <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場も作ったのだからこれでいい。</li> <li>・分別しているのだからこれでいい。</li> </ul> </li> <li>②解決していない               <ul style="list-style-type: none"> <li>・最終処分場へ持ち込まれるゴミは、完全になくなっていない。</li> <li>・つまりいつかゴミはあふれる。</li> </ul> </li> <li>○解決していないのであれば、どうすればよいのだろうか。</li> <li>グループで話し合おう。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・リデュース・リユース・リサイクル</li> <li>・そもそも包装してもらわない。</li> <li>・ジュースはマイボトルへ。</li> <li>・江戸時代のような暮らし。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見が出せない子のために、資料集を見るよう促す。</li> <li>・グループの意見をまとめるのではなく、個人の意見を出させる場とする。</li> <li>・解決したと言い切る児童がいてもよい。</li> <li>・物理的に解決していないだから、解決していない方向で授業を進めていく。</li> <li>・ゴミ問題は社会的な問題であり、個人ができることに限界はあるが、自分ごととして捉えるには3Rのことに触れることが良いと判断した。</li> </ul>	

まとめ 10分	○学習のふり返りをしよう。	・ワークシートに調べたことや考えたことをまとめる。 ・これまでに学習したことをふまえ、本時の学習の感想をノートに記入する。	ごみを処理する仕組みやその再利用、県内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、まとめている。（知識・技能）
------------	---------------	--	---